

令和2年度第7回天童市教育委員会について（報告）

日 時	令和2年10月21日（水曜日）午前10時00分から 午前10時54分まで
場 所	福祉センター3階視聴覚室
出席委員	相澤一彦教育長、工藤昭広委員、村山晴香委員、 松村昌子委員、大内あゆ子委員
欠席委員	なし
出席者	武田文敏教育次長兼教育総務課長、佐藤亨学校教育課長、 矢萩茂生涯学習課長、大沼敦学校給食センター所長 事務局（教育総務課職員）

議 事

議第17号 令和2年度天童市教育委員会感謝状贈呈について

<教育長あいさつ>

おはようございます。

まず初めに、10月から工藤昭広さんが新たな教育委員ということで就任いただきました。工藤委員におかれましては、校長会の会長や県の教育センター副所長、教育委員会の課長補佐、寺津児童館にも勤務されました。また、このたび職務代理者としても指名させていただきました。よろしく願いいたします。

また、10月に入り、教育委員会としては新たなスタートを切ることになります。新型コロナウイルスの影響も続くと思われませんが、よろしく願いいたします。

今日は、2点についてお話ししたいと思います。

まず1点目は、天童の学校教育指針について、御承知の方もいらっしゃいますが、再度確認の意味でお話しさせていただきます。

1つ目は、これまでの歩みを継承し、風化させないことが大切だと考えております。その中で、以前にあった悲しい出来事を風化してはいけないと考えておりますし、これまで積み重ねたものを継続していくことが大切と考えております。

2つ目は、学力の向上が大切と考えております。学力観が変わり、時代のニーズに伴った教育が必要と感じております。今後とも、天童市全体の学力を高めていきたいと考えております。

さらに、3つ目として、新しい教育の流れへの対応が必要と考えております。その中でも、ICTの活用、英語教育、そのほか道徳教育など、ますます重要性が増す中、天童市の教育を今後、ますます強化すべきと感じております。

2点目として、天童の教育、新たな道筋として、ICTの活用を中心に位置づけたいと考えております。

その中で1つ目は、「タブレット端末の使用要綱（仮）」の作成で、積極的な活用、発達段階に合わせた使用基準の手引きが必要であると考えております。

2つ目は、「教育課程への位置づけ」の研究で、学校（校内）研究に位置づけを行い推進することが必要と考えております。

3つ目は、「事務局、教職員の研修」の計画及び推進で、機器やオンラインの課題を認識しつつ、良さを学びの強さにしていくという見方、考え方を共有することが必要と考えております。

むすびになりますが、新たな体制で、これまでの良さを継承し、知恵を出し合って創造していきたいと考えておりますので、皆さまのご支援をお願いし、あいさつとさせていただきます。

< 議 事 >

議第17号 令和2年度天童市教育委員会感謝状贈呈について

< 可決する >

審議経過 工藤委員： 候補者の皆さんは、いろいろな場面でボランティア等として児童生徒の支援を行っていただき、感謝申し上げたいと思います。

ただ一方で、プライバシーの侵害や行き過ぎた行為にならないよう、注意が必要なことも御承知おきいただきたいと思います。

教育長： ボランティアについては良いことですが、行き過ぎた行為等が無いように、学校教育課と学校が連携しながら対処していきたいと思います。

教育長： その他に議事は無いようですので、第7回教育委員会会議を終了します。